



平成19年(2007年)
7月11日号
No.1141

大田区報

安心・輝き・潤いのまちをめざして

- 医療受給者証、高齢受給者証の更新……………3
- 特別養護老人ホーム入所の優先度評価……………3
- 大田区文化祭出品・出場者募集……………4

毎月1・11・21日発行

発行：大田区 編集：広報広聴課 〒144-8621大田区蒲田5-13-14 ☎5744-1111(代) 5744-1503 http://www.city.ota.tokyo.jp/

4月にオープンした大森ふるさとの浜辺公園が初めての夏を迎えます。夏季期間は、水の事故防止のために監視員が常駐しますが、主役は区民の皆さん一人ひとりです。ルールを守って、安全で楽しい浜辺にしていきたいと思います。

ゴミは自分で持ち帰ります

ペットボトルなどの資源はリサイクルしましょう。



ペットもルールを守ります

ペットは浜辺には入れませんが、遊歩道で潮風を感じながら散歩ができます。自転車は、所定の駐輪場に止めてください。



夏の思い出
つくろう

みんなで大森ふるさとの浜辺



水辺で思う存分遊べます

遊泳はできませんが、水辺で楽しく遊べます。お子さんからは目を離さないようにしましょう。花火やたき火など、火を使用することは禁止されています。また、干潟は鳥たちの聖域です。足を踏み入れず、遠くから見守りましょう。



強い日ざしにご注意を

浜辺は直射日光が強いのでパラソルや水筒を持参し、こまめに水分を補給し、休憩をとりましょう。光化学スモッグや雷雲が発生したときは、十分注意してください。

大切にしたいわたしたちの風景

自分たちが愛する浜辺をよりすばらしい場所にしたいと活動する皆さんにお話を伺いました

海苔のとれた海とその歴史を伝えたい

大森東五丁目 田中 宏さん

大森東に生まれ、かつて海苔生産者として働いていました。朝夕に浜辺の清掃を行うのも、海苔の漁場に生まれた浜辺は大切なふるさとだからです。この海の文化を永く伝えたいですね。



植樹とともに育つ郷土を愛する心

中富小学校校長 水野玉樹さん

自分たちの手で植えた木がある公園を、子どもたちはいとおしく大切に感じています。運河の清掃活動と同様、これからも浜辺にかかわり、郷土を愛する心を育てていきたいと思っています。



定期的にイベントも開催!

毎月第3日曜の午前中、浜辺を使った子どもたちの楽しい催しを、地域の方が中心となって開催しています。浜辺をきれいにし、ごみを集めるなど環境教育にも一役買っています。当日現地で気軽に参加してみませんか。



大森ふるさとの浜辺公園

- アクセス…平和島駅から徒歩15分 大森町駅から徒歩12分
大森駅から平和島循環バスで平和島五丁目下車徒歩3分
大森駅から蒲田駅から大森東五丁目行きバスで終点下車徒歩4分
東京モノレール流通センター駅から徒歩15分
 - 利用時間…海辺の自然広場、展望広場、砂浜は夜間の利用はできません(出入口を閉鎖)
9月15日までの利用は午前6時～午後9時(閉園時間は季節により変更あり)
- 大田区北地域行政センターまちなみ整備課 ☎5764-0629 5764-0633

海苔文化を伝える資料館

公園内に平成20年4月オープン予定



完成予想図(鉄筋コンクリート造3階建て、延床面積約1,367㎡)

大田区の海辺は「海苔のふるさと」です。館内には、海苔の歴史や全長13mの海苔船、国の文化財に指定された海苔生産用具を展示し、「乾し海苔作り」や「焼き海苔作り」の体験学習室なども予定しています。3階の展望コーナー、展望テラスからは公園が一望できます。